

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	オリンピック・パラリンピック教育推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課			
施策	3-6	国際社会への対応		主管課長	西村 淳			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市立小山小学校 流山市立常盤松中学校	意図	児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解などを身に付けさせる。
事業内容	スポーツ庁による委託事業で、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、国際的な視野をもって世界の平和に向けて貢献できる人材を育成するため、全国各地においてオリンピック・パラリンピック教育を推進していく事業である。			
事業開始から現在までの状況変化	千葉県教育委員会からオリンピック・パラリンピック教育推進校として2校が指定され、オリンピック・パラリンピック教育を実施していくこととなった。開催地の一つでもある千葉県では、大会を盛り上げ、その効果や成果を最大限に県民に還元できるよう取り組んでいる。この動きを踏まえながら、競技力向上をはじめとして、国際交流、魅力発信に取り組んでいる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		講師による特別授業				7時間	
指標で表すことができない定性的な成果	オリンピック・パラリンピック教育を通して、国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解などを身に付けることにつながる。		目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 小山小学校では、「おもてなしプロジェクト」「こころのバリアフリープロジェクト」を実施した。常盤松中学校では、「スポーツプロジェクト」「グローバルプロジェクト」を実施した。 体験的な学習を通して国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解などを身に付けることにつながった。また、多様な国や地域の文化の理解を通じて、多様性の尊重や国際平和に寄与する態度や多様な人々が共に生きる社会の実現に不可欠な他者への共感、思いやりを培う機会となっている。				
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,680,700				
事業費(b)(円)			338,300				
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)			1,342,400				
人役・職員(人)			0.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	新規事務事業により記載なし	取組の課題	講習会の講師や外部団体との日程調整の難しさが課題である。
今年度(H29)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	今後(H30以降)の改善計画	指定校の事業実施が、円滑により充実した内容にできるよう、連絡を密にとり支援していく。